

## 第1回病理学会アンケート結果(2005.12.19実施)

### 【アンケート実施理由・問題点】

現行の病理診療報酬では、「1臓器あたり」の算定方法となっている。

左右別々にある臓器や皮膚などは、左右同時に、または多数の検体が1度に病理診断に提出されても、常に「1臓器分」しか算定できない。

このため診断病理の現場では、しばしば減価を割り込み、大きな問題となっている。

「皮膚は提出された検体を1部ごと(最大3部位までの算定)」

「左右ある臓器は左右ごとの算定」

とした場合、実際に増加する算定件数をアンケートに基づき算出し、2005年厚生労働省大臣官房統計情報部の資料を基に、医療費に与える増額の影響を推察した。

有効回答率	発送数	有効回答数	調査できず	回答率
大学(2分院を追加)	82	54	3	65.85%
認定施設	377	224	1	59.68%
登録施設	186	115	1	62.37%
合計	645	393	5	60.93%

皮膚を1部位ごとに算定した場合の算定臓器数の増加件数率	1.215%
-----------------------------	--------

左右ある臓器を左右ごとに算定した場合の算定臓器数の増加件数率	1.262%
--------------------------------	--------

上記をともに算定した場合の算定臓器増加率	2.471%
----------------------	--------

上記をともに算定した場合の、全医療費に与える増額の割合	0.00391%
-----------------------------	----------

1,407,742,695円/年

2005年厚生労働省大臣官房統計情報部資料より推算